

## 国立大学法人「三重大学」と「翠松堂」の共同研究成果

### 薬草「ダイオウ」・・・胃ガンに効果

三重大学の樋廻博重名誉教授（栄養生化学）は、便秘薬に用いられるタデ科の薬草 ダイオウに胃ガン細胞を死滅させる成分が含まれていることを突き止め、2007年の日本癌学会で発表されました。

- \* ダイオウは奈良時代に中国から輸入され、正倉院にも残っており、多くの便秘薬に処方されています。

### 論文の要旨

胃ガンを死滅させる成分は、ダイオウに含まれるポリフェノール的一种である「ラポンチン」（ラポンチシン）といい、ダイオウから抽出したラポンチン（濃度：80mg/L）を胃ガン細胞に加えたところ、3日目には細胞核が断片化して胃ガン細胞は消滅しました。

### 樋廻名誉教授のコメント

- 「伝統的な漢方が、ガンにも効果を示すことが分かった。  
日常的に摂取すれば、ガンの一次予防にもつながるのではないか」